

事務事業名		大船渡湾干潟造成調査事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	1:9: 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	0:1: 漁業資源の確保と漁場の管理			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令					01 06 03 02 17 会計 款 項 目 事業	
所属	部課名	農林水産部 水産課			全体計画 (期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0	
	係名	振興係	電話	27-3111		
			内線	337		
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 干潟は、沿岸水域に生息する生物の育成場であり、水産資源の増大と沿岸域の漁場環境改善や生態系の保全に大きな役割を果たしている。しかし、沿岸域の環境変化や開発行為により消失し易く、減少傾向にあるため、その回復を図ることが求められている。 このため、大船渡湾内の適地において、干潟造成に向けた調査事業を実施して基礎データを取得し、今後の干潟造成事業化の基本方向を確立する。 人工的に造成した干潟のうち、蛸ノ浦地区については、アサリの生息状況調査を地元少年団と連携し、実施している。珊瑚島地区については、大船渡市漁協に生息調査を委託している。 事業費は調査委託費として支出される。						

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 造成した調査漁場において、アサリの生息調査等を実施した。また、蛸ノ浦地区に造成計画している干潟の実施設計を行った。		名称 ア 調査箇所数 単位 箇所	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 引き続き、調査漁場におけるアサリの生育状況調査を実施する。また、蛸ノ浦地区の干潟造成に向けて、関係機関と協議を重ねていく。		名称 イ ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 調査漁場		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 力 蛸ノ浦調査漁場の面積 キ 珊瑚島造成漁場の面積 単位 m ²	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 湾内への人工干潟造成の可能性を検証する。		名称 ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 人工干潟が事業化されることにより、アサリ資源が確保される。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 サ 蛸ノ浦調査漁場のアサリ生息密度 シ 珊瑚島造成漁場のアサリ生息密度 単位 個/m ²	
		名称 ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						8,628
		都道府県支出金	千円				1,274		1,725
		地方債	千円						6,500
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,499	163	112	1,771	1,494	402
		事業費計 (A)	千円	2,499	163	112	3,045	1,494	17,255
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	3	3
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	240	240
		人件費計 (B)	千円	160	160	160	160	960	960
		トータルコスト(A) + (B)	千円	2,659	323	272	3,205	2,454	18,215
活動指標	ア	箇所	2	2	2	2	2	2	
	イ								
	ウ								
対象指標	力	m ²	953	953	953	953	953	10000	
	キ	m ²	351	351	351	351	351	351	
	ク								
成果指標	サ	個/m ²	425	557	457	487	300	300	
	シ	個/m ²	2763	1685	2746	497	300	300	
	ス								

事務事業ID	0605	事務事業名	大船渡湾干潟造成調査事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大船渡湾内のアサリ資源の増大や漁場環境の改善を図るための手段のひとつとして、平成8年度に、湾内に一定規模の人工干潟を造成することが可能かどうかを検証するために、この調査事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・市では、公共下水道の供用開始区域が徐々に拡大するとともに、蛸ノ浦地区漁業集落排水施設も平成17年4月に一部供用を開始した。 ・湾内の埋立や橋梁工事が行われることにより、一般市民が自由に潮干狩り(アサリ)を楽しむ場所がなくなった。 ・市外から、放流用のアサリ稚貝を手に入れることが困難になった。(全国的にアサリ資源が減少している。)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・失われつつある干潟を造成し、漁場環境の改善と湾内資源の回復・増大を図ることを漁業関係者から望まれている。 ・市内外の一般住民から、潮干狩りシーズンになると、「大船渡市内で潮干狩りができる場所はないか？」という問い合わせが頻りに寄せられる。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 大船渡湾内のアサリ等漁業資源の増大や漁場環境を改善するために、干潟を造成することの可能性を検証することを目的とした調査事業である。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ ・水産業振興の目的は、安全・安心な水産物を提供することであり、当該調査事業は、そのための手段として位置づけられることから、行政が行わなければならない。 ・山口、永浜の埋立ての条件として、市がアサリ増殖場を整備することとしている。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 現状のままでよい。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ これまでの調査結果では、造成した干潟は、アサリ漁場として機能していることが示唆されていたが、他にも干潟造成の可能性を検証するための指標となるものはあるものと考えられる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ ・調査事業の段階であることから、きちんとした結果を出さずに廃止・休止した場合、これまで市が行ってきたことが全て無駄になる。 ・干潟の造成ができないことで、今後の湾内の漁業資源や水質浄化に悪影響が出ると考えられる。 ・調査事業の結論を待たずに人工干潟を造成することは、費用対効果の面からもリスクが高い。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 調査事業であり、類似の事業がないことから、他の事業との統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 最小限の事業費で事業を実施しており、これ以上の削減はむずかしい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 業務に要する時間はそれ程多くなく、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 調査事業の段階であることから、漁協等他に負担を求めることは適当でない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定規模の人工干潟造成に向け、基礎データを得るため、アサリ生息調査等を継続的に実施する必要がある。 ・造成した干潟の今後の利用方法等について関係漁協と協議しておく必要がある。 	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>既存の造成漁場の調査を継続するとともに、これまでの調査結果をもとに関係者と協議し、干潟造成のための具体的な計画を策定する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20%;">見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>水質の浄化作用がある干潟の確保は、湾内の水質改善に寄与するものであり、同時に漁場の確保につながるものである。</p>	
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
有効性	<input type="checkbox"/>	適切	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
効率性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	適切	<input type="checkbox"/>	見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>引き続き基礎調査を行いながら造成計画を立てていきたい。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
